

ナンバリング	B②06	科目名	保育者論 I
担当形態	単独	担当教員	小木曾 友則
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館. 「保育所保育指針解説」フレーベル館. 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館. その他適宜資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・講義
到達目標	1. 保育者の役割と倫理について理解し、説明することができる。 2. 保育者の制度的な位置づけを理解し、説明することができる。 3. 保育者の専門性について理解し、説明することができる。		
授業の概要	本講義は、現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。 講義では、保育者に関わる関係法令や制度的位置づけを学ぶとともに、担当教員が保育士・幼稚園教諭として勤務した経験を踏まえ、具体的な事例を基に保育者の専門性について理解する。		
授業計画	第1回 保育者の役割と倫理① 「保育者の役割と職務内容とは」 第2回 保育者の役割と倫理② 「保育者の倫理とは」 第3回 保育者の制度的位置づけ① 「関係法令にみる保育士・幼稚園教諭・保育教諭の定義」 第4回 保育者の制度的位置づけ② 「保育士・幼稚園教諭・保育教諭の資格と要件」 第5回 保育者の制度的位置づけ③ 「欠格事由・信用失墜行為及び秘密保持義務等」 第6回 保育者の専門性① 「保育者の資質・能力とは」 第7回 保育者の専門性② 「養護及び教育の一体的展開とは」		

	第 8 回 保育者の専門性③ 「過程との連携と保護者に対する支援」				
準備学習と必要時間	予習として、毎回授業計画に示された「 」のテーマに関して、テキストで確認を行う。 (60 分) 復習として、毎回講義のテーマに関して講義資料をもとに振り返る。(30 分)				
評価方法	<p>受講態度(20%)授業課題(30%)期末レポート(50%)</p> <p>受講態度は、授業中に提示した課題に責任を持って取り組む、質問に対する応答やグループ討議での積極性、発表時のまとめ方等から「関心・意欲・態度」及び「技能・表現」の到達度を見る。</p> <p>授業課題は、毎授業時間終了時に講義のゴールについて記述する振り返りシートから授業内容に関する「知識・理解」及び「思考・判断」から到達度を見る。</p> <p>期末レポートは、各授業に設定されたゴールから出題し、「知識・理解」及び「思考・判断」の観点から到達度を見る。</p>				
参考文献	授業中に適宜示します。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンまたはタブレットを毎回持参すること。 ・Google Classroom から講義資料の配信、授業課題の提示を行う。 ・配信されたレジュメの PDF データにメモするか、あらかじめ自身で印刷するなどして受講することをすすめる。 ・授業計画に示した「 」は各回の講義のゴールである。授業中はゴールを念頭に受講し、授業後の振り返りシートで理解した内容をまとめて教員に提出する。 ・期末レポートは、各講義のゴールから出題される。毎回の講義を重んじた授業設計であることを踏まえて受講してほしい。 ・他の受講者に対する迷惑行為(私語、飲食、講義と無関係なスマートフォンの使用、複数回に渡る退室や明確に受講意思のない居眠りなど)と判断される行為はその回の受講態度の減点となる。講義の進行を妨げる場合は受講態度を大きく減点する。 ・本講義では、生成 AI の利用については「使用可能範囲」と「使用禁止範囲」を設けている。これは遵守してほしい。 				
課題へのフィードバック方法	毎回の講義で提出する振り返りシートには教員がコメントを行い、次回の授業冒頭で他の学生のコメントを紹介する。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育の基礎的理解に関する科目
	その他		保育士資格	必修	保育の本質・目的に関する科目

教員の実務経験

(小木曾)保育所及び幼保連携認定こども園で勤務した経験を踏まえ、具体的な事例を利用しながら実践的な講義を展開する。